

## 会 議 録

会議名 (付属機関等名)	令和5年度 第4回川西市参画と協働のまちづくり推進会議		
事務局(担当課)	参画協働課		
開催日時	令和5年10月20日(金) 午後7時から午後8時半		
開催場所	川西市役所 4階 庁議室		
出席者	委員	岩崎恭典、田中晃代、藤本真里、西原千佳子、松原利明、久保田啓子、柏村千尋、大西僚、京極光泰、名畑龍史、丸谷満、山中彩永	
	その他	市民活動センター(男女共同参画センター):指定管理者 三井ハルコスーパーバイザー、吉尾豊マネージャー	
	事務局	井上公室長、西川副公室長、岸本参画協働課長、山元同課課長補佐、長見同課主任	
傍聴の可否	可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p style="text-align: center;">1 開会</p> <p style="text-align: center;">2 議事</p> <p style="text-align: center;">(1) 第3期川西市参画と協働のまちづくり推進計画答申案(計画案)について</p> <p style="text-align: center;">3 閉会</p>		

19:00～

## 1 開会

### ○事務局

事務局進行

川西市参画と協働のまちづくり推進条例第10条の規定により、本会議は公開となる。

本日は山中委員がWeb会議システムによる出席となる。

出席委員は、定数12名中12名（1名WEBによる出席）

本日は、川西市市民活動センタースーパーバイザー三井ハルコ様、市民活動担当マネージャー吉尾豊様がオブザーバーとして出席。

それでは、ここからは岩崎会長に進行をお任せする。

### ○岩崎会長

本日の出席委員は、定数の過半数に達しておりますので、川西市参画と協働のまちづくり推進条例施行規則第7条第2項の規定により、本日の会議は有効に成立している。

それでは、議事に入りたいと思う。事務局から説明をお願いします。

### ○事務局

本日使用する資料は資料1：答申書(鑑)

別添： 第3期 川西市参画と協働のまちづくり推進計画(案)

## 2 議事 (1) 第3期川西市参画と協働のまちづくり推進計画答申案(計画案) について

### ○岩崎会長

11月には市長にこの推進計画を諮問を受けた部分について答申していきたい。今日が最後の意見集約の場になる。11月6日に市長に答申予定。

事務局から説明をお願いします。前回から変更した部分を中心に説明をお願いします。

## ○事務局

資料1及び別添 説明 (9月22日推進会議からの変更した箇所中心に説明)

## ○岩崎会長

11月には答申を予定していることを前提に、修正をかけられる部分はかけていきたい。

それでは改めて推進計画についてのご意見をいただきたい。どの部分からでも結構ですのでご発言をいただきたい。

## ○藤本委員

所々括弧が文字に重なっていたり、文字間が不揃いになっている。これを綺麗にした方が良くと思う。

## ○事務局

改めてもう一度目を通させていただく。

## ○大西委員

色味やイラストの表現方法は、市民の人に寄っているところがあって、私が普段見ている計画に比べて圧倒的に見やすいと思う。

出来るのであれば、ルビうちのありとなしでPDFを分けられると良い。障がいのある方、識字等々課題にある方は読めないこともある。これほど作り込まれたものなので、ルビうちのPDFだけでもあると良いかと思う。

## ○事務局

いかに視覚的にも見やすくなるのかということは点検していきたい。

## ○田中委員

綺麗に修正していただいた。

2 ページ、4. 計画の体系図で第 2 章第 2 期の推進計画の振り返りがされているが、その右側に取組みの成果と課題を確認するということで、成果と課題は総括の中に入っているという認識でしょうか。総括の中には、必要がある、検討していくといった文言が最後の語尾に入っているため、これを課題として認識すると成果は実際に取組み項目でやったという話になる。

表現を合わせた方が良いかと思う。総括の中には課題が全部書かれている。これが課題だということで認識してよろしいか。

### ○岩崎会長

総括を行ったわけで、取組みの成果と課題を確認するよりも、第 3 期に向けての課題を提起したニュアンスだと思う。

### ○田中委員

そうであれば、右に総括としてまとめましたと表現した方が分かりやすく次につながれると思う。どちらかと思い尋ねた。

### ○事務局

ご指摘いただいたとおり、取り組んだ内容は書かせていただいた。残念ながら目標値は達成していないが、課題を確認したということで、ご意見があったかたちで修正出来ればと思う。

### ○柏村委員

26 ページ、項目 1 つ目の取組み内容 2 つ目の点に、チラシやポスター作りとある。たぶんポスターだと思う。

4 章、第 3 期推進計画の目標についてが、色味や優しい感じで絵も入っていて、見やすいと言う印象を受けた。

あとは市民アンケートのグラフで、見やすく色分け等していただいているが、例えば

10ページ、非常に興味があるとある程度興味があるの色味が少し見えにくい。もう少し分かりやすい色の違いがあった方が見やすいのではないかと感じた。

### ○事務局

前は「ポ」だったが今回「ボ」になることが起こっている。全て、もう一度見直させていただく。

### ○京極委員

個人的にグラフが書かれているページは好きです。仕事で販売の管理をし、数字を見ている人間はデータや数字が好きです。

例えば2章の推進計画の振り返り、施策評価指標、平成29年から令和4年の推移が書かれている数値であるが、目標値が達成できていない。分野によっては上がっていたり期待していた目標値に近づいてるものもあるが、この数字を太字にするか赤字にするか、この数字を強調する、もしくは全く別のところに表を作成しても良いかと思う。数値の推移や傾向が一目で分かるように強調が出来ればと思う。

### ○事務局

ご指摘いただいたところは、見やすさにつながると思う。表現を検討させていただく。

### ○名畑委員

8ページと9ページにそれぞれ川西市の人口と世帯数と自治会の加入世帯数を合わせたグラフがある。8ページは人口と世帯数でオレンジと水色、9ページも同じ、片方が増えて片方が減ってきてオレンジと水色なんで、一瞬同じグラフが載ってるのかと思ってしまう。9ページのグラフの線の色を変える方が良い。8ページは、川西市の世帯数と書いてあり、総世帯と書いてるところと世帯数と書いている。9ページは市世帯数と書いてある。

おそらく同じ数字を使っていると思うため、市世帯数か総世帯数か、ただの世帯数なのかは合わせておいた方が良くと思う。修正出来る範囲でお願いしたい。

## ○事務局

適切にさせていただきます。

## ○丸谷委員

16ページのグラフは分かりやすく強調したいという意思是感じるが、赤の斜線の棒グラフに赤の点線を入れて数字を赤色というのは見えにくいと思う。赤色で囲う必要はないのかと思う。むしろ58.8、47.1、35.3この数字を太字にする方が分かりやすい。強調するにはこのグラフ自体の幅がせまいため、文字の太さを変えるなどで変化をつけても良いのかもしれない。

もし(n=17)というのをもう少し細字にして、見せたいところの文字を太くするなどこのグラフ色分けも元々されてますし、よく分かるかと思う。17ページは黄色や赤など薄い色でされているが、強調したいという部分の見せ方や、強調しつつ見て分かるような感じで整えることをもう一度ご検討いただければと思ったのが一つ。

2つ目がこのヘッダーの位置にあるイラスト。よく見るとカメからどどんムシが増えて太陽に近づいている。頑張っ歩いていきたいことが伝わって、このような小さいあしらいは大好きですが、イラストの太陽が3、4ページだと表にかぶってしまっており、3ページは文字にかぶっている。太陽を背景扱いにして表を上重ねた方が良く思った。

もうひとつは主観になるが、あくまで参考程度に聞いていただきたい。言葉の途中で次の行に行くのは非常に見づらい。できれば言葉は同じ段で収めたい。

3、4ページからの推進計画の振り返り、例えば取組み項目1番目のひと・まちおこしセミナーの開催の「セミ」と「ナー」が分かれている。せめてセミナーから切っても良い。もし余裕があってもう少し見やすく出来そうなところがあれば、ストレスなく読めるというのはこういう冊子には大事かと思う。

3つ目はあくまで参考程度に、気になった点3つあげさせていただいた。

### ○岩崎会長

16ページ、団体の認知度が高まらない35.3が枠の中に入っている。改めて気づいた。

### ○田中委員

10ページと16ページ、アンケート調査の概要調査期間や調査対象、調査方法と書かれているが、四角で囲むとか、調査の方法や有効回答率は四角で太枠もしくは塗りつぶしでも良いので強調していただきたい。市民調査と市民アンケート調査、市民団体調査というのは明らかに違うものなので、分かりやすく概要を四角で囲って強調していただきたいと思う。

### ○山中委員

22ページ「気がついたら」で、さらにのところだが、参画や協働を身近な入りやすい状態にする文章だと思う。24ページで参画について定義されている。結局22ページの簡単なことや些細なことが参画や協働になっているという状態をめざすという、この文章の意味が分からなくなってきたので説明をお願いしたい。

### ○岩崎会長

24ページに「参画」とは、市の施策等の立案・実施・評価の過程に主体的に関わって意見や提言を行うことと定義づけている。それを「気がついたら」の部分では、参画の敷居を低くする。参画の活動とっていなかったが、簡単なことや些細なことでも人のためやまちのためになることなら、それも参画これも協働になるという。その参画というのが、市が定義している参画と同じなのかということの問い。

## ○山中委員

概念を変えるようなことをしていきたいということなのか分からなくなった。

## ○事務局

条例等で規定している参画は難しい言葉で書かれている。一方で、これをしてくださいといったかたちで進めていっても、なかなか参画ということに市民の方が進みにくいことだとこの計画の議論の中にもあったと思う。

例えば地域のことに気軽に参加出来るような状況を作っていきたい。それが参画の始まりというのか、きっかけになるかと思う。簡単なことから関わっていただいて、やがてみなさんに来て頂いてるように審議会として関わっていただいたり、パブリックコメントが身近になれば、自分も意見を出してみようかといったことにつながっていくようになれば良いと考えている。

## ○岩崎会長

22ページと24ページに参画と書いてあるが、24ページの参画は市の条例に基づいての参画とはっきり書いておけば良いのではないか。参画の一般的な意味は22ページにある。参画と協働の推進条例は、参画とはこういうことだという注釈を入れておいていただければ良いかと思う。

## ○丸谷委員

10ページのグラフで、今回が上で前回は下になっているのは何か意図があるのか。時系列に考えると下の方が今回で上が前回のようなイメージがある。意図があり今回が上ということなのか。上から下に流れていくイメージがある。

隣の表1、自治会加入世帯数は上が平成29年で下が令和5年となっている。

## ○岩崎会長

前は参考までにとという位置づけではないかと思う。



## ○丸谷委員

そうであれば、今回のグラフを全体的に濃くするとか、前回の調査とほぼ変わりありませんでしたということの何か違いを出した方が良いと思う。

## ○事務局

基本的に今回のものをまず出ささせていただき、今回はこうでしたと表現させていただいた。アンケートの報告書の方も全てこういうかたちで表現させていただいている。入れ替えるよりは今回の分をいかに表現するのか考えさせていただく。

## ○京極委員

強調するというよりは何ポイント上がってるや下がってるのがあれば良いと思う。グレイアウトにすれば良いが、上がってる下がってるのコメントがここには何ポイントありますしか書かれていないため、それがあるだけでも全然違うかと思う。

## ○大西委員

私が事業者だからか、こういうものを時間をかけて作った時に、何かしら爪痕を残したいと思うタイプだが、29ページがクロージングだと思う。言葉は適切なのか分からないが、ここが大事だと思う。ここでいかに魅力付けが出来るかが肝かと思う。

私なら SNS を増やすのなら QR を絶対載せる。情報をどこから取ったら良いかとなった時に、また自分で探すことは手間だと思う。市の公式 SNS アカウントを載せていると、そこから自治会やイベント、タウンミーティングに試してみようかなど、具体的なアクションにつながっていく。29ページでこのように作っているので、紙で終わらずにアクションをおこしてもらえるような仕掛けが計画として入れられるのか分からないが、あった方が良いのかと思った。

QR に飛べるみたいな、要はこんなことを実際にやっている、これからこんなことがあるみたいなのが、SNS インスタ、ツイッター、あとラインかな。推進計画でも 7 万人に増やすことになってるのであれば、QR 登録していただいて次のアクションにつながってい

くみたいな流れ。

### ○事務局

これを見て頂いて市の情報をもっと知りたいと思った方が、ホームページから検索するのかというお話だと思う。少なくとも市のホームページへ簡単にアクセス出来るような仕掛けが出来たらと思う。

### ○藤本委員

イラストが可愛らしくて、これまで行政の計画ではなく楽しいと思うが、表紙はどうされるのか。今回は真っ白だが、やはり表紙もないと開いてもらえないので、真っ白なままではなく、是非表紙でも何か楽しい雰囲気仕上げていただきたい。

### ○事務局

表紙に枠があった時もあったが、どんなイラストにしようかという話までは出来ていない。

### ○田中委員

イラストの件だが、協働やまちづくりに、人を表現するのは難しいと思う。表紙でそういう雰囲気を醸し出すのかと思っていたので、イラストを入れるのにはコストがかかるのか。

もう少し人が並んでる様子や、最後には4人が出てきているが、大人や子ども、色々な立場の人がいる。内容が参加やコミュニティを取り扱った時に人は重要かという気がしたため、イラストに関してはそのように感じた。

### ○事務局

人は難しい面があり、色々な方がいらっしゃる。みんなという中でここに表現出来なかった方はみんなじゃないのかという逆説的なことがある。そういった意味でカメラ

多様な哺乳類、そのような事を超えて昆虫などを入れさせていただいた。

### ○山中委員

26ページのつながりづくりのめざす姿が脱字なのか、様々なのところ。

先ほどの表紙の話、例えばパズルとしてピースを表紙に散りばめ、最後のページでピースが合って川西の形になることでも良いのかと思った。

### ○岩崎会長

ヒントとして市の方に検討をお願いする。

### ○事務局

例えば表紙でパズルが何個かあって、後ろの方になったら完成してるみたいなイメージで良いですか。

### ○山中委員

パラパラ漫画のように細かなくて良いが、最後のページで川西の形になっている。

### ○松原委員

※印やアスタリスクある公告が気になって、どこに回答があるのかを探す。3ページ4ページに※印があり、その答えが6ページにある。ここまでいくとここに答えがあると分かるが、ずっと後ろの方にも色々※印がある。※印の順番は、順番通して違う番号に進んでいったほうが良いと思う。

### ○岩崎会長

連番にしていくという話。

25ページの※印は、目標値についている※印はどうするのか。

## ○事務局

こちらの数値はアンケート調査を実際に実施しており、11月頃に集計が出て、その際に策定時の値は出す予定。目標値の方は現在質問の仕方が少し変わっているため、※印アンケートの数値が変わるかもしれない。現在はこの数字でいこうとは思っている。例えば、今策定時の値30.8%が集計して50%あれば目標値50%ということではないため、変更の余地があるとみている。

## ○久保田委員

11ページの円グラフと横のグラフ、黄色の意味合いが全然違う、自治会だよりやコミュニティだより、どこからも得てない、これが区別しにくい。統計を出してやっているのに色の変化がつかないと一緒に見えてしまう。もう少し、分かりやすくしてもらえたらと思った。

26ページの項目、前回9月から見やすくなったと思う。項目、めざす姿、取り組むという意欲を感じる。グラフや数字など色々苦労されているが、もう少し分かりやすくしていただきたい。

## ○岩崎会長

黄色は少し見づらい。違いが分かりにくいと思った。せっかくのアンケートの結果なのでお願いしたい。

## ○田中委員

裏側表紙にかわにし新時代へと書いてあるが、これはロゴなのか。

## ○事務局

ロゴであり、今年度策定する個別計画には全てこれを入れていく。

## ○京極委員

グラフのことで色味の話があった。アクセシビリティなのか色盲の方向けの色合いかと最初思ったが、どうなのか。色合いの表現がある。項目が分かれてくるとさすがに色を使わないといけなくなる。その辺も考慮した上で思い切ってグレーにしたり、分かりやすいドットにするなどあると思う。

## ○事務局

アクセシビリティの関係で、チェックは市の方でもかけていきたいと思う。色味を都度確認出来るものがないため、意見を参考にしながら多くの人に見ていただき、変更できるところは変更し、より見やすいものにしたいと思う。

## ○柏村委員

16ページ、図14と図15の違いはNPOと市民公益活動団体のそれぞれのグラフだということ。17ページ、図16と図17は同じことが書いてある。それぞれの項目の内容は分かりやすいが、もう少しNPOとか市民公益活動団体の違いだということのを強調出来たらと思う。

## ○大西委員

NPO法人とNPOは別だと思っているが、たぶん混在していると思う。そこまで細かくするのかという話もあるが、違和感はある。前半はNPOが出てきてるが、後半はアンケートに答えてもらったのはNPO法人なのでこのような表現になっているのか分からないが、三井さんはよくご存じかと思う。

## ○三井氏

ニュースで言われたり、新聞などで書かれる「NPO」は「NPO法人」を指していると思うが、本来「NPO」は公益団体全部を指している。ここで、もし「NPO法人」と規定するのであれば、「NPO」ではなく「NPO法人」とした方が正確だと思う。

### ○岩崎会長

アンケート調査ではNPO法人を対象にしているためNPO法人と書いている。

### ○三井氏

アンケート対象として、市内のNPO法人に限定しているのか、NPO法人も含んだ市民公益団体全部なのかを明示した方が良いというご意見かと思う。たぶんアンケートの段階ではNPO法人を想定されていたと思う。

### ○岩崎会長

市民公益団体とNPO法人という分け方をしたから、NPO法人という言い方をした。それ以外の部分はNPOという使い方をしている。

### ○三井氏

どこかに説明が要ると思う。

### ○大西委員

総合計画で決めた21ページ、ジブンイロ、ジブンゴトはとても大事にしている言葉と思うが、23ページで漢字になっている。カタカナで推した方が統一感はあるかと思う。

### ○事務局

総合計画の方ではカタカナでジブンゴトというところを表現していた。参画の計画では、カタカナの固有名詞の様な使い方はしないと決めた訳ではないが、しない選択をした。一般的に自分ごとという言葉を使わせてもらった。どちらが良いのか悩んだが、カタカナのジブンゴトにするは総合計画を見てもらわないと分かりにくい。出来るか出来ないかもう一回考えさせていただきたい。

## ○岩崎会長

これは市の方の総合計画との絡みもあるので、お預けしたい。

## ○丸谷委員

誤字の話で、22ページの上から2行目、少しづつの「づ」が、たぶん「ず」の方が合っている。今一度全体を見直した方が良いと思う。

以前会議の時に、黄色と青を基調にしたイラストの入った冊子をいただいた。そのイラストを使い、話を進めているのではないのか。

## ○事務局

総合計画の基本構想基本計画の冊子のことだと思う。それは総合計画の方の冊子になり、説明不足だったかもしれないが、21ページは総合計画のところから抜粋しているため、そのテイストのイラストをそのまま入れさせてもらった。他のところでは総合計画のイラストは入れていないかたちになっている。

## ○丸谷委員

人が難しいと私も思っていたので、確認だけさせてもらった。

## ○三井氏

気になったところが大きく3点ある。

26ページ以降、市民活動センターとも関わりがある28ページを見て、取組み内容のところがやはり主語が誰なのか分かりにくい。取組み内容に5点あるが、上から4つまでは市民活動センター側が考えることなのかと。1番下はセンターのイベントなどに参加するのは、これは市民や事業者の方を指しているのか。23ページに役割分担が書かれているが、どの項目についても役割を担っていく主語を明示しなくて良いのか気になった。

28ページの市民活動センターの取組み内容について、地域活動や市民活動を活発に

する講座等を開催する。下から2段目に市民活動や地域活動の場を提供するがあって、上から2つ目に交流会など仲間づくりの場を設定する、この辺、混在してないかと感じる。地域活動や市民活動を活発にする講座を開催して場を提供するとまとめてみたり、市民活動に関する情報を積極的に発信して、交流会など仲間づくりの場を設定するとした方が分かりやすいのではないかという気がした。

26ページからの表でめざす姿だけが全部真ん中寄せになっている。これは左寄せでも良いのではと思った。それが1点目。

2点目は6ページ、※2は出来た経緯として市民委員の方を中心に作られた経緯が少し入っても良いのではないかと。※3のまちづくりラウンドテーブルは市との協働事業である。NPO法人と協働で実施など、これが協働の一例だということがはっきり明示されたら良いのではと思ったのが2点目。

3点目は4ページの表の1番上の取組項目に、市民活動センターやボランティア活動センターなどの中間支援機能の強化と連携の強化とある。他に社会福祉協議会のボランティア活動センターの記述がないが、必要ないのだろうか。

## ○岩崎会長

ボランティア活動センターの扱いは。

## ○事務局

ボランティア活動センターは社会福祉協議会の組織になっている。市民活動センターも同じようにボランティア的に活動される方が登録されている組織になっている。これは2期の取組みになるため、今からは難しい。現状として、市民活動センターや地域福祉課、介護保険課、地区福祉委員会の方々と関わったりする部署、ボランティア活動センター、社会福祉協議会と一緒に集まり、月に1回ほど意見交換会を行っている。そこで情報共有している状況にはある。多くの団体と連携し、網羅的に取り組んでいくことは進めていきたいと思っているので、具体的に社会福祉協議会やボランティア活動センターということまでは表記していない。みんなで一緒にやっていくというのは、最初の



大きなところで掲げているところとはマッチするのかと思っている。

### ○岩崎会長

必要な取組みで敢えて主語を書いていないのは前回は議論があったが、敢えて書いていない。多くの人が自分で考えてやっていくことだから、敢えて主語はつけない。とはいえ、市民活動センターの充実の部分は、主語は市民活動センターになる。少しストーリーみたいなものをこの取組み内容に入れておいても良いのかというご指摘であった。ここは少し考えておいた方が良い。

逆に主語をはっきりさせようというのは6ページの協働の事例の部分。ここについては主語を逆にはっきりさせておく。主語の部分は入れていただきたい。

### ○事務局

28ページは主語を入れないという意味合いでさせていただいた全体的な話もある。6ページは修正出来たらと思う。

### ○吉尾氏

デザイン構成で、改行がおかしいやずれがあるなど10カ所以上ある。

9ページの表1、表は上にあって、図は図4や図5は下に記載がある。括弧の幅や大文字小文字、改行段落、又23ページの吹き出しは、この吹き出しがデザイン的にどうなのか。後でお伝えしたい。

### ○岩崎会長

行政がつくる計画とは違ったユニークなものになりそうだ。それならそれに合うような表紙にして欲しいなどあるわけだが、今後の日程や費用の面で制限があるのかもしれない。今日いただいたご意見について出来るだけ尊重していきたい。これから限られた時間での修正を事務局の方でしていただく。その修正の結果、過程について、私の方にご一任いただければと思う。よろしいか。

私の方で一度拝見して、みなさんの意図に充分そっているものだとすれば、11月はじめに会を代表して市長に答申をしていきたいと思う。特に何かあればご発言いただきたい。

### ○大西委員

感謝ですが、この場で出会った方と任意団体を設立し、ネットワークづくりを進めていこうかという話をしている。このような場に参加させていただき形が出来て、持続していけそうなことは、私としては嬉しい。ひとつの実績でもあると思う。また公表出来るようなタイミングでお伝え出来ればと思う。

20人くらいのグループにはなっている。まだ法人化しているわけではない。福祉のネットワークづくりをしようかという話。社会支援が分散しているということもあるので、お互いの資源を持ち寄って、共有出来るものはしていき、民間でネットワークづくりから資源を作っていこうかという話。子育て団体と就労団体と学習支援や、コープにも協賛に入ってもらって少しずつ広がっていく。これから居場所を作ったり、具体的なプロジェクトを動かしていきたい。

### ○岩崎会長

NPOはミッションを持ってやってるし、特にNPOを代表している人の意思というものがすごくあるから、NPO同士で色々連携しましょうといっても難しい場合が多い。

### ○三井氏

最初のきっかけはセンターで作らせていただいた。「あとはみなさんで」というかたちで、出来るだけみんな仲良く共存共栄出来るようにおつなぎしサポートしている。

### ○岩崎会長

今後、川西の多くのところで、多くの参加の仕方があるというまちであるのが1番望ましい。少しボランティアやってみよう、少し市民活動してみようというところから始

まって、それが子どもやお年寄りを対象にしても良いし、多くのものが見えていて、そこに自分の興味に従って参加出来るような、そんな社会になれば、まさに参画と協働の理想の社会ではないかという気がする。そんなことをこの推進計画で実現する将来であって欲しいと思う。どうか市民のみなさんは、そんな社会に向けてなお一層健闘していただければと思う。我々部外者からお願いしたい。

本日はここまでとさせていただきますと思う。

### **3 閉 会**

#### **○事務局**

委員の皆様、ありがとうございました。

第3期推進計画のパブリックコメントは12月実施予定